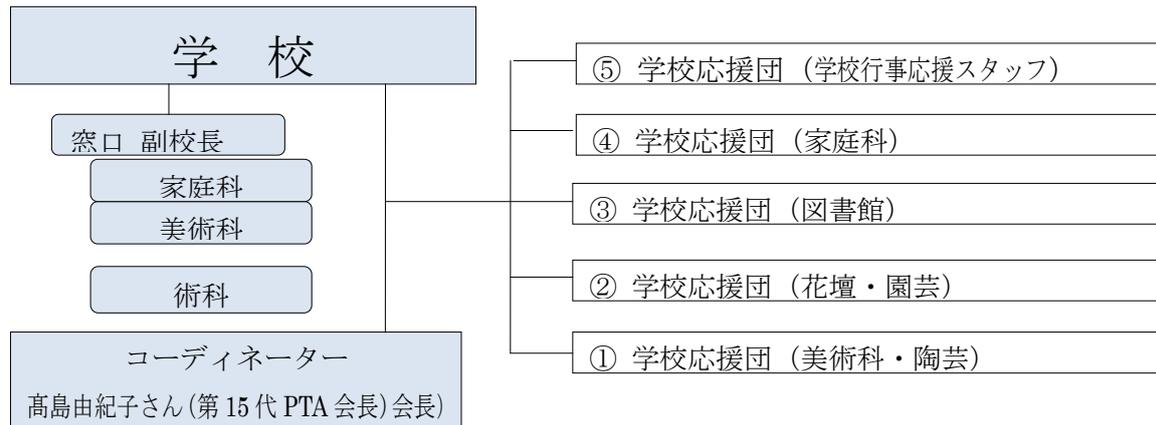


3 学校応援団組織



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- 平成22年度から始まった学校応援団も今年で3年目になり、美術の陶芸の学習や家庭科の裁縫の授業において生徒のつまづきを支援する活動を行い、応援団の活動を継続することで、応援団の皆様の指導力が向上しました。
- 生徒が本を読む習慣がつくように図書室の環境整備や本の修復を行っていました。以前は閉ざされていた図書室も応援団の皆様の地道な作業によって学校施設が改善され、生徒の活動にもよい傾向が見られました。
- 応援団の皆様が一般道路に面した花壇に四季折々の花を植えていただき、華やかさだけでなく、本校生徒を始め、地域の皆様にも心のうるおいを与えています。

<課題>

応援団の方々の新メンバーを募る時期が来ましたので、今までの活動が継続できることが難しくなってしまうのではないかと心配しています。

5 代表より

学校応援団の活動は、学校の教育活動に直接関わることができ、先生と同じ目線で生徒の学習に携わることが出来ます。その結果、生徒さんの様子を知る機会になりました。積極的に聞きに来るお子さんばかりではなく、静かにしていても、手を出して作業をやらうとしないお子さんもいました。授業をとおしてお子さんに関わることで、いろいろな変化が見ることができました。応援団の皆さんも、回を重ねるごとに支援の仕方が上手くなっていました。

6 学校長より

応援団の力により、本校の教育力も高まってきました。また、応援団の皆様が生徒の実態を正しく理解していただいています。今後とも応援団の輪を広げ、質の向上を目指していくとともに、多くの皆様の応援をいただきたいと存じます。

また、学校施設が地域のコミュニケーションの場としての機能を果たし、地域の子どもやその活動場所を介在として、地域の皆様が相互に知り合い、共育・協働の体制の中で、絆を強めることが、子どもの健全育成につながることを期待します。